

ご挨拶

学校長 齋藤 宏夫



平成二十二年四月に定期異動により栃木県立さくら清修高等学校第三代校長を拝命いたしました。氏家高・さくら清修高同窓会の皆様にはどうぞよろしくお願い申し上げます。また、和氣久一会長をはじめ同窓会役員の皆様には入学式、同窓会総会、同窓会研修旅行等で大変お世話になっております。八十有余年の歴史と伝統を誇る氏家高校の同窓会にさくら清修高校の卒業生も加えていただくとともに、本校並びに在校生に対し特段の御支援を賜っておりますことに、改めて心から感謝申し上げます。

さて、平成二十二年三月にさくら清修高校を卒業した二期生の二百三十六名の進路状況(実数)は、四年制大学に百十四名(国公立九名・私立百五名)、短期大学に三十九名、専門学校に五十九名、就職が十二名、進学準備他が十二名でした。なお、国公立大学合格者の延べ数は十一名で、筑波大学や新潟大学等に合格しました。ま

た、就職者の中には栃木県職員に合格した者もあります。

また、今年度の部活動の活躍としては、陸上競技部が国体(千葉県)及び全国高校総体(沖縄県)に、写真部と美術部が全国高校総合文化祭(宮崎県)に出場いたしました。関東大会にも上記の部活動やソフトボール部、放送同好会が出場しました。さらに県大会においても、サッカー部が全国サッカー選手権栃木県大会でベスト8に入るなど、多くの部活動が活躍しました。当会報の最終ページに部活動の活躍の詳細が掲載されておりますのでご覧ください。

さて、校長室の書棚には「バスを語る」(昭和二十九年)や「蓮は平和の象徴也」大賀一郎博士を偲ぶ」(昭和四十二年)など大賀一郎先生関係の本が残されています。その中には同窓生の長島時子先生の書かれた文もあります。これらの本や同窓会顧問の小島操様から教えていただいた話などから、本校の校庭に咲く二千年蓮や大賀博士の書かれた『蓮は平和の象徴也』の碑文の由来などを知ることができました。そこで、多くの方に大賀蓮を知っていただきたいと思い、下野新聞に掲載していただくとともに、学校のホームページにも蓮の写真を載せました。蓮の写真の他にも、本校ホームページには、黄緑色の桜である御

衣黄・藤の花・泰山木の花の写真や、学校行事・部活動での在校生の活躍の様子を伝える写真、そして同窓会のページも作成いたしましたので、ぜひご覧くださいませ。ようお願いたします。

最後になりましたが、さくら清修高校の生徒たちが様々な形でお世話になりますが、氏家高校の後輩たちと同様に、今後とも御支援をいただきますようお願い申し上げます。挨拶といたします。

大学生活一年目

さくら清修高二期生

村田 茉花



昨年の四月、ずっと前から行きたいと思っていた筑波大学に入学し、一人暮らしとともに期待と不安だらけの大学生活をスタートさせました。でも残念ながら最初は楽しくありませんでした。大学に全然なじめなかつたんです。人と仲よくなるにはどうしたらいいんだろうと初めて悩みましたし、正直高校に戻りたくてしょうがなかったです。それくらい高校生活

は充実したものでした。私はさくら清修が大好きだったので余計そう思ってしまうのですが、いい先生がたくさんいて、いい友達がたくさんいて、しかも自分の素が出せる学校ってなかなかないと思います。そしてそんな学校に通えた自分はずっキーなんだなと今は思います。高校時代はもちろんそんなこと考えもしませんでした。

そして肝心の大学の授業の方はというと、高校とはまるで違います。先生によつてつまんなかったりものすごくつまんなかったりします。一年生はどうしても基礎科目が中心になってしまふのでしょがないことかもしれないませんが、おもしろい!と思える授業は本当にちよつとしかない気がします。最初はまじめに大学に行つていたのに、だんだんサボリがちになり、気づけば単位を何個か落としているというのがリアルな現状です。もう少し危機感があつた方がいいんじゃないかと思うのですが、これが当たり前のようになっている所が大学の怖い所だと実感しています。

なんだか大学の悪い部分しか書いていないような気がします。が、もちろんいい部分もあります。一番よかったと思えるのが、いろんな人と出会えたことです。特に筑波大学は大きな大学なので、全国から人がたくさん集まってくる。そして当然ながらみんな違う考え方を持っているんですが、これがかなりおもしろいです。いろんな人とならべていくうちに、こんな考え方があつたのか!とか、こういう視点もあるのか!と、どんどん自分の視野が広がっていくので、すごく楽しいです。

そして、楽しいことと言えば心理学の授業です。私は人間学群心理学類に所属しているので当然心理学の授業は必修です。たいていの必修科目はつまらないですが、やっぱり心理学だけはおもしろいです。もちろん理解するまでは難しいし、専門用語もどんだんでくるのでテスト前なんかはパニック状態です。特に最近では心理統計学や心理学方法論など、とてつもなく難しい授業も始まり、本当についていくのがやつとといった感じです。それでも、前からやりたかつた心理学を今自分はやっているんだなと思うと、正直嬉しくてしかたありません。

こんな感じでいろいろあつた大学生活も一年がたとうとしているのかと思うと、本当に時間といふのはあつという間に過ぎていくものなんだと感じます。まだ三年残っていますが、これからも悩んだり迷ったりしながら、少しずつでも成長していけたらなと思います。三年後の自分がどうなっているのか、今から楽しみです。